(19) 世界知的所有権機関 国際事務局



(43) 国際公開日 2005年3月10日(10.03.2005)

PCT

(10) 国際公開番号 WO 2005/021806 A1

(51) 国際特許分類7: C21D 9/00, C22C 38/00, 38/18, 38/54, F01D 25/24, F02C 7/00

(21) 国際出願番号:

PCT/JP2004/012764

(22) 国際出願日:

2004年8月27日(27.08.2004)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(30) 優先権データ:

特願2003-306103 2003年8月29日(29.08.2003)

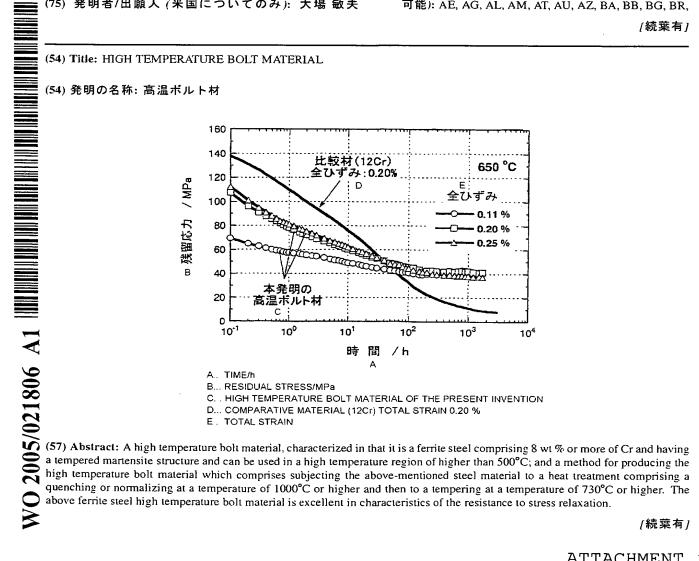
(71) 出願人(米国を除く全ての指定国について): 独立行 政法人物質・材料研究機構 (NATIONAL INSTITUTE FOR MATERIALS SCIENCE) [JP/JP]; 〒305-0047 茨 城県 つくば市 千現1丁目2番1号 [baraki (JP).

- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 大場 敏夫

(OHBA, Toshio) [JP/JP]; 〒305-0047 茨城県 つくば市 千現1丁目2番1号 独立行政法人物質・材料研究 機構内 Ibaraki (JP). 澤田 浩太 (SAWADA, Kota) [JP/JP]; 〒305-0047 茨城県 つくば市 千現1丁目2番1号 独立行政法人物質・材料研究機構内 Ibaraki (JP). 木村 一弘 (KIMURA, Kazuhiro) [JP/JP]; 〒305-0047 茨城県 つくば市 千現1丁目2番1号 独立行政 法人物質・材料研究機構内 Ibaraki (JP). 岡田 浩一 (OKADA, Hirokazu) [JP/JP]: 〒305-0047 茨城県 つく ば市 千現 1 丁目 2 番 1 号 独立行政法人物質・材 料研究機構内 Ibaraki (JP). 阿部 冨士雄 (ABE,Fujio) [JP/JP]; 〒305-0047 茨城県 つくば市 千現 1 丁目 2 番 1号 独立行政法人物質・材料研究機構内 Ibaraki (JP).

- (74) 代理人: 西澤 利夫 (NISHIZAWA, Toshio); 〒107-0062 東京都港区 南青山6丁目11番1号 スリーエフ南 青山ビルディングフF Tokyo (JP).
- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が 可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR,

/続葉有/





BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG,

CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

一 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(

(57) 要約: Crを8重量%以上含有し、焼戻しマルテンサイト組織を有するフェライト鋼であって、500℃を超える高温域において使用可能である高温ボルト材を、1000℃以上での焼入れ、または焼ならし、そして730℃以上での焼戻しの熱処理により製造し、500℃以上の高温域においても使用することができる、耐応力緩和特性に優れたフェライト鋼高温ボルト材とその製造方法とする。